

徳地転陣ものがたり

元治元年(1864年)十月二十日、三田尻にいた奇兵隊と鷹懲隊の2隊が、徳地堀地区の8ヶ寺へ転陣・駐屯して俗論(保守)派と幕府軍(第一次長州征伐軍)に対峙しました。奇兵隊と鷹懲隊は、下関戦争の敗戦後、急速に西洋化を進めてミニエー銃(ライフル銃)と散兵戦術(個人戦)をここ徳地で初めて実戦配備をしたのです。奇兵隊の軍監は山県有朋でした。彼は山口への交通の便(新山代街道)と、島地川と佐波川が造るポルネックの地形と平地にせり出す両側からの山々が、大軍の侵入・進攻を防ぐ独特の地形に着目して徳地で戦うことを決めました。さらに制高(敵より少し高い位置に陣を置く戦い)方戦術や新旧の銃の機能を意識させる陣配置(構え)からは、山県の軍人としての非凡な才能を窺てとることができます。

徳地での駐屯は約半月でしたが、ここでの厳しい訓練や人心掌握(諭示)がやがて内訌戦(大田・絵堂の戦い)や幕長(四境)戦争を勝利に導くのでした。本陣となった堀小古祖の正慶院には高杉晋作や山県有朋、中岡慎太郎・松島剛蔵・世良修蔵・福田狭平等が集まりました。



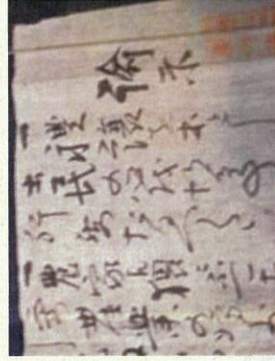
占領された下関前田砲台



正慶院(奇兵隊本陣)



昌福寺(鷹懲隊詰所)



諭示(東行庵)

奇兵隊本陣コース(4km)

- ① 集会所 180m
- ② 正慶院【本陣】 290m
- ③ 多念寺址【第二銃隊】 670m
- ④ 祇園社【須賀神社・訓練場】 850m
- ⑤ 妙楽寺址【槍隊】 1.3km
- ⑥ 金毘羅宮【物見場】 1.3km



【お土産処・お食事処】

- 1 釣堀太公望
- 2 前小路ワークス

090-3174-5318
090-4136-2679
090-1630-1000
090-3174-5318
090-4136-2679
090-1630-1000

090-3174-5318
090-4136-2679
090-1630-1000
090-3174-5318
090-4136-2679
090-1630-1000

090-3174-5318
090-4136-2679
090-1630-1000
090-3174-5318
090-4136-2679
090-1630-1000

090-3174-5318
090-4136-2679
090-1630-1000
090-3174-5318
090-4136-2679
090-1630-1000